



クイックマニュアル

オペレーションマニュアルはZOOMのWebサイト (www.zoom.co.jp)からダウンロードできます。

© 2016 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製/転載することを禁じます。

次

安全上の注意/使用上の注意	3
はじめに	6
用語の説明	7

概 要

 \square

各部の名称	8
AR-96の使い方	11
リングコントローラーについて	12
外部機器との接続	14
モードの切り替え	15
インストゥルメントについて	16

準 備

電源の ON/OFF	. 17
SD カードのセット	. 19

INSTモード

INST モードの概要	20
操作の流れ	21

STEP モード

STEP モードの概要	23
操作の流れ	25

SONGモード

SONG モードの概要2	26
操作の流れ2	27

キャプチャー

キャプチャーの概要	28
操作の流れ	29

LOOPERモード

LOOPER モードの	概要3	0
操作の流れ		1

その他の機能

エディット(音色の編集)	32
エフェクト	32
ミキサー	32

故障かな?と思う前に	. 33
製品仕様	.34

安全上の注意/使用上の注意

安全上の注意

このクイックマニュアルでは、誤った取り扱いによる 事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて 表示しています。マークの意味は次のとおりです。

<u>余</u> 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
<u>入</u> 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生する おそれがある内容」です。
刘記月	うの例

「実行しなければならない(強制)内容」です。

「してはいけない(禁止)内容」です。



AC アダプターによる駆動

 AC アダプターは、必ず ZOOM AD-14 を使用する。 ○コンセントや配線器具の定格を超える使い方や AC100 V 以外では使用しない。

AC100 V と異なる電源電圧の地域(たとえば国 外)で使用する場合は、必ず ZOOM 製品取り扱 い店に相談して適切な AC アダプターを使用する。

充電式電池による駆動

充電式電池は必ず ZOOM BT-04 を使用する。

● 電池の注意表示をよく見て使用する。

●使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

◇ケースの開封や改造を加えない。

∕∧注意

製品の取り扱いについて

 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。 ●異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- ◇温度が極端に高いところや低いところでは使わな 1)
- ◎暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ◎湿度が極端に高いところや水滴のかかるところで は使わない。
- ◎振動の多いところでは使わない。
- ◇砂やほこりの多いところでは使わない。

AC アダプターの取り扱いについて

- ①電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプ ラグを持って抜く。
- ●長期間使用しないときや雷がなっているときは、電 源プラグをコンヤントから抜く。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ●ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッ チを必ず OFF にしてから接続する。
- ●移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとAC アダプターを抜いてから移動する。

音量について

○大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

AR-96は、安全性を考慮して本体からの電波放出お よび外部からの電波干渉を極力抑えております。し かし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強 い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出 る場合があります。そのような場合は、AR-96と影 響する機器とを十分に距離を置いて設置してくださ い。

デジタル制御の電子機器では、AR-96も含めて、電 波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わ ぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてくだ さい。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布を よくしぼって拭いてください。 リングコントローラー表面が汚れたときは、糸くずの 出ない柔らかい布を湿らせて拭き取ってください。 クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、

シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダ プターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類も はずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、 異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お 電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサー ビスまで連絡してください。

著作権について

◎ Windows[®] / Windows[®] 10 / Windows[®] 8 / Windows[®] 7 は Microsoft[®] 社の商標または登録商 標です。

◎ Mac、Mac OS、iPad、iOS は、Apple Inc.の商 標または登録商標です。

◎ Intel、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその 他の国における Intel Corporation またはその子会社 の商標または登録商標です。

◎ SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは商標です。

 \bigcirc Bluetooth \succeq Bluetooth $\Box \dashv i$, Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、株式会社ズームはライセンス に基づいて使用しています。

◎ MIDI は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登 録商標です。

◎文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それ ぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみ を目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害す る意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、 放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無 断での使用は法律で禁止されています。

著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責 任を負いません。

安全上の注意/使用上の注意のつづき

認定機器について

■無線の許可認定について

本製品は、電波法および電気通信事業法に基づく小 電力データ通信システムの無線設備として、認証を 受けた無線設備を搭載しています。

したがって、本製品を使用するときに無線局の免許 は必要ありません。

ただし、下記の事項を行うと法律により罰せられる ことがあります。

・本製品を分解/改造すること

■無線に関する注意事項

本製品の使用周波数帯域は 2.4 GHz 帯です。 この周波数帯域(2.4 GHz 帯)は、電子レンジなど 産業・科学・医療機器の他にもさまざまな機器が使っ

ていることがあります。

電波干渉を防止するために、以下の事項に注意して 使用してください。

- 1. 本製品を使い始める前に、お近くで「他の無線局」 が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干 渉が発生した場合には、速やかに製品の使用場 所を変えるか、または機器の運用を停止(電波 の発射を停止)してください。
- その他、本製品の無線に関して不明な点やお困 りのことが生じた場合は、弊社まで連絡してく ださい。
- **2.4 XX 2** 2.4:2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表 します。
 - XX:その他の方式を表します。
 - 2:想定される干渉距離が 20 m 以内であることを表します。
 - ここ: 全帯域を使用し、かつ移動体識別 装置の帯域を回避不可

本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設 備を内蔵しています。 認証番号:001-P00500

Cの装置は、クラスB情報技術装置です。こ の装置は、家庭環境で使用することを目的と していますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすこ とがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱い をしてください。 VCCI-B

最適なパフォーマンスのために

AR-96はリングコントローラーとベースステーションの通信に無線通信である Bluetooth LE を使用しています。見通しの良い室内で10mまで通信を行う事ができますが、電波干渉などの要因によってうまく通信ができない時は以下の事をお試しください。

- リングコントローラーとベースステーションを近づける。
- ●リングコントローラーとベースステーションの間
 に障害物がある場合、障害物を移動する。
- ●不要な 2.4 GHz 通信をやめる、もしくは影響する 機器から遠ざける。
 - ・WiFi アクセスポイント

- ·スマートフォンなどの WiFi を使用する機器
- ・電子レンジ
- ・音声モニターや照明コントロールなど、2.4
 GHz 通信を行う機器

電池についての安全上の注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、 火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読 みください。

⚠危険

- ◎リチウムイオン電池(BT-04)はAR-96と AD-14の組み合わせ以外で充電しない。
- ◎ 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レン ジやオーブンで加熱しない。
- ○電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。そのような場所で充電しない。
- ○電池をコインやへアーピンなどの金属類と一緒に 携帯、保管しない。
- ○電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水など の液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、 使用したりしない。

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、 落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ◎電池が変形・破損した場合は使用しない。
- ◇外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外 装シールの一部または、すべてをはがしてある電 池や破れのある電池は絶対に使用しない。

お願い リチウムイオン電池はリサイクルできま す。不要になったリチウムイオン電池 は、金属部分にセロハンテープなどの絶 緑テープを貼ってリサイクル協力店へお せたください
 ネ電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル 協力店については 一般社団法人 JBRC ホームページ http://www.jbrc.com を参照してください。

本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更され ることがあります。

安全上の注意/使用上の注意のつづき

はじめに

このたびは、ZOOM Aero RhythmTrak AR-96 (以下 "AR-96" と呼びます)をお買 い上げいただきまして、ありがとうございま す。AR-96は、次のような特長を備えた製品 です。

●コントローラーにフープ形状を採用

コントローラーをフープ形状にしたことで、 ループシーケンスを直感的に打ち込むことが 可能になりました。

●リングコントローラーには 32 個×3 列のパッドと 32 個×5 列の LED を搭載

ステップ入力時には、3列のパッドを使用して、 同時に3つのインストゥルメントを入力でき ます。また、多色発光するLEDにより、最大 で5つのインストゥルメントの入力状態を一 目で確認することができます。

また、リアルタイム入力時には、各列のパッドを使いわける多彩な演奏が可能です。

リングコントローラーをベースステーションから着脱可能

リングコントローラーをベースステーション から取り外し、手持ちスタイルで演奏するこ とが可能です。従来のリズムマシンでは不可 能だった、魅せるパフォーマンスを実現でき ます。

●リングコントローラーに加速度センサー を搭載

リングコントローラーを傾けることにより、 エフェクトのパラメーター制御を行うことが できます。身体で音をコントロールする新し い感覚を味わえます。

●グリップエリアの自動検出

ラーとして使うこともできます。

グリップエリアの設定機能により、リングコ ントローラーを持って演奏するときの誤操作 を防ぐことができます。

ポジションの設定は、自分の持ちやすい位置 を握るだけの簡単な操作で行えます。

●リングコントローラーとベースステー ションは Bluetooth LE で接続

リングコントローラーとベースステーション は Bluetooth LE で無線接続されます。消費電 力が少なく、長時間の使用が可能です。 また、リングコントローラー単体を Mac や iOS 機器と接続し、多機能 MIDI コントロー ●多彩なエディットが可能な音源を搭載 AR-96に搭載された音源は、音色表現の幅を 広げる多彩な設定パラメーターを持っています。 音色の各パラメーターは、アイコンベースの エディター画面で簡単に設定することができ ます。

また、1つのキットにつき最大33インストゥ ルメント(同時発音数16)の音源を使用でき るので、多彩な楽曲の作成が可能です。

● 400 種類以上の内蔵 PCM 音源と 70 種類以上のシンセサイザー用オシレー ターを搭載

バリエーション豊かな音源の中から、作りた い曲のイメージに合った音を探せます。 音源はカテゴリーごとに分類されているため、 素早く音を選ぶことができます。

●多彩なクリエイトモードを搭載

1 ステップ単位でパターンを組んでいく STEP モード、リアルタイムに演奏パターンを打ち こんでいく INST モード、作成したパターン を曲として完成させる SONG モード、キャプ チャーしたオーディオをパッドに割り当てて 演奏できる LOOPER モードを使い分けて曲の 作成ができます。

●最大5系統のエフェクトを同時使用可能 各インストゥルメントに対してインサートエ フェクト、グローバルフィルター、ディレイ、 リバーブ、マスターエフェクトを同時に使用 することができます。 音作りの幅がぐっと広がります。

●電子楽器やオーディオ機器を接続可能 なインプットを搭載

接続した機器からの入力を聴きながら演奏したり、入力をキャプチャーしてルーパー素材として使うことができます。

●音声ファイルを取り込み可能

パソコンで SD カードに保存した WAV ファ イルをルーパー素材として取り込み、使用で きます。(別途 SD カードが必要)

●アウトプットとは別系統のヘッドフォ ンアウトを搭載

2系統のアウトプットを搭載することで、ヘッドフォンだけにメトロノーム音を出力するなどの使い方が可能です。

用語の説明

<u>パターン</u>

数小節からなる短い曲の部品です。**AR-96**に は様々な音楽ジャンルを網羅したプリセット パターンが登録されています。

<u>ソング</u>

複数のパターンを組み合わせて、ひとつの楽 曲として構成したものをいいます。

<u>ステップ</u>

パターンを構成する最小単位です。シーケン ス入力時にはステップ単位で音を入力してい きます。

<u>シーケンス</u>

パターンに登録されたメロディーやリズムを 構成する、さまざまな音階や音色の音を組み 合わせて作成するデータです。

キット

ドラムセット、パーカッション、ベース、シ ンセサイザーなどの音色を組み合わせたセッ トです。キットを切り替えることで、音楽ジャ ンルや用途に合わせた音色を簡単に利用する ことができます。AR-96はジャンル別に分け られたプリセットキットを用意しています。



ベースステーション



各部の名称のつづき



■右側面





各部の名称のつづき

リングコントローラー



HINT

リングコントローラーのキーを使用して、ベースステーションのキーと同じ操作ができます。
 リングコントローラーの (・)は、ベースステーションの (い)に対応します。

AR-96の使い方

AR-96は、ベースステーションとリングコントローラーから構成されています。



ベースステーションでは、曲の作成や保存、音色の編集などができます。リングコントローラー は曲を作成するときの入力に使用します。

さらにリングコントローラーは着脱可能になっており、手に持って楽器のように演奏したり、 Mac や iOS 機器と無線接続し、MIDI コントローラーとして使用することもできます。

リングコントローラーには、32 ブロック×5列のLEDマトリックス(タッチパッド3列、表示のみ2列)を搭載しています。2次元のマトリックスをフープ形状の表面に立体的に配置したことにより、コンパクトなサイズでありながら全体を確認しての操作が可能です。



リングコントローラーについて

AR-96のリングコントローラー表面には5つのリング状のエリアがあり、上面(トップリング)、 側面(サイドリング)、底面(ボトムリング)にはそれぞれ32個の感圧式タッチパッドが配置さ れています。

このタッチパッドを使用して、曲の入力や編集、リアルタイム演奏などを行うことができます。



機能の割り当てについて

リングコントローラーのリングやパッドには、操作状況やモードに応じてさまざまな機能が割り 当てられます。

例:STEP モードの PAD レイアウト:それぞれのリングは5つ (ガイドライン表示時は3つ)の インストゥルメントのシーケンスを表し、各リングのそれぞれのパッドは1~32までのステップ に対応します。



例: INST モードの PAD レイアウト: 各パッドが1~32 までのインストゥルメントに対応し、 それぞれのリングには異なるパラメーター設定を割り当てられます。



HINT

入力方式は各モードによって異なるため、詳細は各操作の説明ページを参照してください。

リングコントローラーについてのっづき

プレイバックポジション

パターンやソングなどを再生する時は、現在 再生中のステップ位置に対応するトップイン ナーリング・ボトムインナーリングの LED が 緑に点灯します。

また、INST モードなどでリアルタイム入力を 行う場合は、LED が赤く点灯します。



ガイドライン

STEP モードでトップインナーリング・ボトム インナーリングの LED 表示を 1 拍ごとに点灯 させ、ステップレコーディングの補助にする ことができます。

設定方法はオペレーションマニュアルを参照し てください。



グリップエリア

リングコントローラーをベースステーション から取り外して操作するとき、意図せずにパッ ドが押されてしまうことを防ぐために、タッ チに反応しないグリップエリアを設定するこ とができます。グリップエリアは **●** のを 押し、任意の範囲を握ることで自動的に設定 されます。



外部機器との接続



(USB接続)

モードの切り替え

AR-96では、パターンを作成し、それらを複 数組み合わせて曲を作成できます。

AR-96での編集作業は、主に下記の4つの モードを使用し、それぞれを切り替えること でパターン作成と曲の作成を行き来しながら 行うことになります。



パターンを作成する方法には、STEP モードと INST モードの 2 種類があります。

 STEP モード…ステップ単位でインストゥル メントの発音ポイントを記録し、パターン を作成します。 INST モード…リアルタイムでパッドを叩いて演奏した結果をパターンとして記録します。

一方、曲の作成には SONG モードまたは
 LOOPER モードを使用します。

- SONG モード…リアルタイムでパターンを 切り替えて演奏し、その結果を記録して曲 を作成します。
- LOOPER モード…INPUT 端子に接続され た機器からの音声入力、パターンやソング などをオーディオとしてキャプチャーした データや、SD カードから読み込んだ WAV ファイルなどを素材として、ルーパーシー ケンスを組み立て、曲を作成します。



インストゥルメントについて

AR-96は、1つのキットにつき最大33の音源を使用できます。その1つずつをインストゥルメントと呼び、ドラムなどの波形データ、または内蔵のシンセサイザーを発音できます。それぞれのインストゥルメントに対して、数百種類ある音色から好きなものを割り当てることができます。

インストゥルメントの音源には以下の2種類があり、STEP モードおよび INST モードで ()を押すと切り替えることができます。どちらのレイアウトの場合も、16 音まで同時発音できます。

PADレイアウト	最大で 32 のパッドそれぞれに異なるインストゥルメントを割り当てて演奏でき
	るモードです。ドラムの演奏に適していますが、インストゥルメントにシンセサ
	イザーを割り当てることもできます。
KEY レイアウト	1 つのインストゥルメントに音階を付けて演奏するモードです。パッドの並びが
	キーボードのように音階順になり、リングコントローラーの LED は白鍵が白、
	黒鍵は青の配色になります。また、メジャー、マイナーなどのスケールを設定す
	ることも可能です。
	シンセサイザーの演奏に適していますが、スネアなどの打楽器を割り当て、音階
	を付けて演奏することもできます。

インストゥルメントのリングコントローラーへの割り当ては、STEP モードと INST モード、PAD レイアウトと KEY レイアウトでそれぞれ異なります。





電源の ON/OFF

ベースステーションの電源

 ベースステーションに、付属の AC アダプターを接続する



電源を OFF にするには、
 一
 一
 一
 た長
 押しする

HINT

リングコントローラーがスリープ状態でベー スステーションに接続されている場合は、 ベースステーションの電源 ON/OFF にリン グコントローラーの電源が連動します。

NOTE

AR-96をパソコンなどと USB 接続する場合も、電源供給には AC アダプターを使用してください。

リングコントローラーの電源

■リングコントローラーを充電する

1. リングコントローラーをベースス

テーションに設置する



それぞれの充電端子の向きを合わせて 設置してください。 充電が開始され、リングコントローラー

の [0 5000 の LED が点灯します。

充電中 (電源 OFF・スリープ)	赤
充電しながら使用中	オレンジ
バッテリーで使用中 (電池残量 12%以上)	緑
バッテリーで使用中 (電池残量 12%未満)	緑点滅

HINT

ベースステーションが OFF になっていても、 電源に接続された状態であればリングコント ローラーを充電できます。

電源の ON/OFF のつづき

■リングコントローラーをスリープ 状態にする

リングコントローラーが充電されているとき は、電源が OFF にならず、スリープ状態にな ります。

1

1.	○CONTROLLER (① 50mm) を長押し	1.
	する	
2.	○CONTROLLER スリープ状態を解 除するには、(① ≠ CHEO)を長押しする	2
HIN	Г	_
スリ し ^の 電し	ープ中は、リングコントローラーの 10 DED が赤点灯(充電中) /赤点滅(充 ていない時) します。	N • 雷 火

■リングコントローラーの電源を OFF にする

リングコントローラーの電源を OFF にするに は、リングコントローラーが充電されていない 状態で操作を行います。

○ CONTROLLER 充電していないとき

に7秒以上 [0,500] を長押しする

CONTROLLER 電源をON にする には、「しょいの」を長押しする

ΟΤΕ

- 電源がOFF になるとしヶミの LED が消 けします。
- 電源が OFF になっていても、充電を開始 するとリングコントローラーは自動的にス リープ状態になります。

SD カードのセット

■SD カードの取り付け・取り外し

1 電源を OFF にする

2. ベースステーションの SD カード スロットカバーを開ける

3. スロットに SD カードを挿し込む

取り出したいとき: SD カードを一度スロットの奥に押し込 んでから、引き抜く



NOTE

- AR-96 に SD カードを取り付けない場合、 キャプチャーデータの保存や、作成したパ ターンやソングのバックアップ作成ができ ません。
- SD カードを抜き差しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- 市販の SD カードや、他のパソコンで初期 化された SD カードを使用する場合は、最 初に AR-96 で初期化する必要があります。
 初期化の方法はオペレーションマニュアル を参照してください。

INSTモード

INST モードの概要

パッドを叩いて自由に演奏することができます。また、その演奏をリアルタイムに記録してパター ンを作成することもできます。

このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド1 つずつが1 つのインストゥルメ ント(PAD レイアウト)/ノート(KEY レイアウト)に対応します。



また、トップリング、サイドリング、ボトムリングにそれぞれ異なるパラメーター設定を割り当て、 音色を使い分けることができます。



パターン作成…PAD レイアウトの場合:

リアルタイム入力を開始したら、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。 パターンはループ再生され、何度でも重ね録りが可能です。



INST モードの概要のつづき

パターン作成…KEY レイアウトの場合:

リアルタイム入力を開始したら、入力するノートのパッドを叩きます。 パターンはループ再生され、何度でも重ね録りが可能です。(ポリフォニックに設定した場合)



操作の流れ





STEP モード

STEP モードの概要

STEP モードでは、パターンをステップ単位で入力して作成します。 このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド1つずつが1つのステップに対応 します。



リングコントローラーの1 周は 32 ステップに分割されているため、2 小節分のステップ入力をま とめて行うことができます(①)(最小ステップを16 分音符にした場合)。



STEP モードの概要のつづき

PAD レイアウトの場合:

リングコントローラーの5つ (ガイドライン表示時は3つ)のリングはそれぞれ異なるインストゥルメントを表示します。どのリングにどのインストゥルメントを表示させるかは、 で切り替えることができます (2)。

複数のインストゥルメントをリングコントローラーに表示できるので、入力済みのインストゥル メントを確認しながら、次のインストゥルメントの入力を進められます(③)。







操作の流れ STEPモードに入る <u>STEP</u>を押して、STEPモードに入ります。 パターンを選ぶ 0でパターン番号を選びます。 音色のセットを選ぶ 🖤を押して音色を編集することもできます。 入力するインストゥルメントを選ぶ リングコントローラーのトップリングに移動させます。 ②リングに表示される インストゥルメント色が移動する ①入力するインストゥルメントを KEYレイアウトを入力する場合は、いたを押してモードを切り替えます。 select ②】で選択する 1つの入力が終わったら、別のインストゥルメントに切り換える ステップス カ 入力する位置のパッドを叩きます。 2小節 1小節 インストゥル 1小節

SONG モード

SONG モードの概要

SONG モードでは、作成した複数のパターンを組み合わせてひとつの曲(ソング)を完成させます。



すべてのパターンのうち96パターン(トップリング、サイドリング、ボトムリングに各32パターン)の範囲がパッドに割り当てられます。割り当てる範囲は、 の範囲がパッドに割り当てられます。割り当てる範囲は、 のを押してリング単位で変更することができます。パッドを叩くことで、割り当てられたパターンの再生が始まります。



準備ができたらリアルタイム入力を開始し、再生するパターンのパッドを叩きます。



操作の流れ



キャプチャー

キャプチャーの概要

AR-96の各モードで再生中の音声や、INPUT 端子からの入力をキャプチャー(録音)できます。 また、SD カードに保存した WAV ファイルの内容をキャプチャー素材として登録することもでき ます。

キャプチャーした音声は LOOPER モードで使用可能です。



HINT

キャプチャーは96 個まで登録できます。

NOTE

キャプチャーした音声のデータは SD カード内に保存されます。SD カードを取り外したり、別の SD カードと入れ替えるとキャプチャーが使用できなくなりますのでご注意ください。



LOOPERモード

LOOPER モードの概要

LOOPER モードでは、作成済みのパターンやソング、INPUT 端子からの入力、WAV ファイルな どのキャプチャー素材を組み合わせ、ルーパーシーケンスとしてひとつの曲にまとめることがで きます。

ルーパーシーケンス			再	生順→
同時 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	<u> </u>	キャプチャー2 : キャプチャー3	++775+-1 ++775+-1 キャプチャー2	

リングコントローラーのトップリング、サイドリング、ボトムリングに各 32 キャプチャーが割り 当てられます。パッドを叩くことで、割り当てられたキャプチャーの再生が始まります。



準備ができたらリアルタイム入力を開始して、再生するキャプチャーのパッドを叩きます。最大で16のモノラルキャプチャーを同時に再生することができます。







エディット(音色の編集)

を押すと、オシレーターやノイズの種類、インサートエフェクト、レベル・パン、センドエフェクト、LFO、エンベロープなどを変更して、音色を編集することができます。 また、SONG モードではリングコントローラーの表示設定、LOOPER モードではキャプチャーの設定ができます。

エフェクト

(FILTER)、(DELAY)、(REVERB)、(MASTER を押すと、パターン、ソング、ループシーケンスに、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトをかけることができます。

ミキサー

を押すと、パターン、ソング、ルーパーの作成中や再生中に、 各インストゥルメントのミキシングを調節したり、ミュート・ソロなどの設定ができます。

HINT

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

その他の機能





故障かな?と思う前に

AR-96の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

■音が出ない、非常に小さい

- ・電源が ON になっていることを確認してください。
- ・接続を確認してください。
- ・各インストゥルメントのレベルを調節してく ださい。
- ・ミキサーグループレベルを調節してください。
- ミュート状態になっていないことを確認して ください。
- ・ヘッドフォンボリュームまたは OUTPUT ボ リュームのレベルを確認してください。

■ノイズが多い

- ・シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- ZOOM 純正の AC アダプターを使用してく ださい。

■エフェクトがかからない

- ・インストゥルメントにエフェクトが正しくア サインされていることを確認してください。
- エフェクトはそれぞれのキーを押している間 しか有効になりません。キーを放した後もエ フェクトをかけ続けるには、
 を使用して ください。

■リングコントローラーがうまく動作しない

- ・電源が ON になっていることを確認してくだ さい。
- ・ベースステーションとの接続を確認してくだ さい。
- ・パッドの感度を調節してください。
- ・グリップ設定を確認してください。
- ・MIDI コントローラーとして使用している場合は、Mac 及び iOS 機器の設定を確認してください。

HINT

各機能の詳細については、オペレーションマ ニュアルを参照してください。

製品仕様

ベースステーション

入力	INPUT L/R	仕様(コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック(アンバランス)
		入力ゲイン	+10 ~ - 65 dB
		入力インピーダンス	50 k Ω
出力	OUTPUT L/R	仕様(コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック(アンバランス)
		出力インピーダンス	200 Ω
	PHONES	仕様(コネクタ形状)	標準ステレオフォンジャック 20 mWx2(32 Ω負荷時)
		出力インピーダンス	10 Ω
ダイナミックレンジ			ANALOG IN / AD : 92 dB typ (IHF-A) PHONE OUT / DA : 102 dB typ (IHF-A) MAIN OUT / DA : 106 dB typ (IHF-A)
記録メディア			SD カード 16 M ~ 2 G SDHC 規格対応カード 4 G ~ 32 GB SDXC 規格対応カード 64 ~ 128 GB
MIDI IN/OUT			USB MIDI or MIDI over Bluetooth LE
電源			5 V 1 A AC アダプタ
消費電力			ベースステーション本体:最大 1.25 W
			リングコントローラー給電時:最大 4.5 W
			※充電時の電力を含む
外形寸法			260.0 mm(D) x 260.0 mm(W) x 64.0 mm(H)
質量(本体のみ)			990 g
表示器	LCD		2.0" フルカラ―LCD(320x240)
インターフェイス	USB 2.0(標準 USB MIDI)	対応 OS	Windows 7 (SP1)以降、Windows 8 (8,1 含む) 以降、 Windows 10 Mac OSX 10.8 以降
		要求スペック	USB2.0 が標準搭載されたチップセット、 CPU Intel Core i3 以上
	MIDI over BLE	転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー(対リング	5 ~ 12.5 ms
		コントローラー)	

製品仕様のつづき

リングコントローラー

MIDI IN/OUT			MIDI over Bluetooth LE
センサ			PAD 用感圧センサ、3 軸加速度センサ
電源			リチウムポリマー充電池(最大電圧 DC4.2 V、公称電圧 3.7 V、
			容量 450 mAh - 3.7 V)、ベースステーションから直接給電
消費電力			電池動作時:最大2W
充電時間			約 2.5 時間
電池寿命			約 4.5 時間(使用状況によって異なります)
外形寸法			280.5 mm(D) x 280.5 mm(W) x 33.5 mm(H)
質量(本体のみ)			540 g
トリガーパッド		パッド数	96 個
		ベロシティーカーブ	4タイプ
インターフェイス	MIDI over BLE	対応 iOS 機器	iOS8.0 以降の iPad シリーズ
		対応 Mac	Mac OS 10.10.5 Yosemite 以降の
			BLE 通信ができる Macbook シリーズ、iMac シリーズ、
			Mac pro シリーズ
		転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対ベース	5 ~ 12.5 ms
		ステーション)	
		レイテンシー (iOS・	16.25 ~ 20 ms
		Mac OS)	



株式会社ズーム 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3 ホームページ http://www.zoom.co.jp